

## 質 疑 回 答 書

事業名：令和6年度三田市生活困窮者子どもの学習・生活支援事業

番号	質問項目	質問内容	回 答
1	プロポーザル 実施要領 10	10 企画提案書の作成方法について 副本7部について、事業者名を黒塗りするなど、提案事業者を判別できなくする必要があるかご教示ください。	事業者名を黒塗りする必要はございません。
2	プロポーザル 実施要領 10	10 企画提案書の作成方法について 様式7～9について、記載されている内容が網羅されているようであれば パワーポイントにて作成しても問題ないかご教示ください。	パワーポイントで作成いただいても構いませんが、様式7～9の記載箇所が分かるように作成してください。 【例】パワーポイントの各箇所に「三田市様式〇該当部分」と記載する。
3	仕様書	実施場所へ通うことができない生徒に対して、オンラインでの学習支援を行う場合、想定している方法はあるかご教示ください。（例：実施教室と生徒をオンラインで繋ぐ、もしくは1対1での授業等。）	質問書の例で示された両方を想定しています。通所ができない事情は、各世帯・利用者（生徒）によって異なるため、実施教室と生徒をオンラインで繋ぐことも想定していますが、不登校の利用者の場合は、1対1での授業の方が望ましいことも考えられると思われれます。三田市では、これまでオンラインの実施実績がないため、世帯・個人の状況によって臨機応変な対応をお願いしたいと考えています。
4	仕様書	オンラインでの実施回数も教室と同じ55回の認識で良いかご教示ください。	お見込みのとおりです。
5			
6			
7			
8			